

富津市在宅医療・介護連携推進会議 会議録

1	会議の名称	令和元年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議
2	開催日時	令和元年7月2日（火） 19時00分～19時55分
3	開催場所	富津市役所5階 502・503会議室
4	審議等事項	(1)令和元年度の認知症施策の地域住民への周知について（報告） (2)在宅医療・介護連携のための現状把握について (3)令和元年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について
5	出席者名	（委員）三枝奈芳紀、原田則雄、田中計、川口哲也、細井尚人、熊切篤、水町裕義、大島拓二郎、丸尚子、宮野京子、村田泉、須藤淳子、夏目剛志、渡辺政基、秋川裕康、有江直樹、和泉喜章、早川清子、古堀真由美、花澤光洋、三枝裕文、藤野雅一、牧野常夫、藤寄勉 （事務局）島津太、中山貴弘、篠田優子、磯貝勇一、西野雅則、飛澤賢宏
6	公開又は非公開の別	<u>公開</u> ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0人（定員2人）
9	所管課	健康福祉部介護福祉課 高齢者支援係 電話 0439-80-1300
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

令和元年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議 会議録

発言者	発言内容
<p>事務局 (中山補佐)</p>	<p>それでは、ただ今より、令和元年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、委員25人のところ、24人のご出席をいただいております。</p> <p>また、議事録作成のため、会議の内容を録音させていただいておりますので、ご了承くださいようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、お手元の次第により、進めさせていただきます。</p> <p>開会にあたり、健康福祉部長の島津からあいさつを申し上げます。</p>
<p>事務局 (島津部長)</p>	<p>皆さんこんばんは。健康福祉部長の島津でございます。</p> <p>令和元年度第1回在宅医療・介護連携推進会議の開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>本日、委員の皆様には、公私ともにお忙しい中、本会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>全国的に、少子高齢化が進み、富津市におきましても、高齢化率が平成31年4月1日現在で36.84%であり、2025年（令和7年）には、38.9%になると推計しております。</p> <p>昨年度は2回の推進会議と二つのワーキンググループ会議において、「在宅療養と在宅看取りのガイドブック」の作成や、認知症施策の周知活動について提言をいただきました。</p> <p>本年度も引き続き高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、更に議論を深めていただきたく存じます。</p> <p>本年度、本市においては、令和3年度からの第8期介護保険事業計画の策定に向けてアンケート調査等を実施する予定でございます。医療と介護の関係者間での情報共有・連携の推進や、認知症施策を実施していくことにより、地域包括ケアシス</p>

<p>事務局 (中山補佐)</p>	<p>テムの構築を進めていけるよう、皆様のご意見をいただきながら、本計画の基本理念である「高齢者が地域でいきいきと輝くまち」を目指していきたいと考えております。今後のご尽力・ご協力賜りますようお願い申し上げます。あいつとさせていただきます。</p> <p>本日はよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、島津部長につきましては、所用によりましてこれで退席させていただきますのでご了承いただきたいと思います。</p> <p>(島津部長退席)</p>
<p>事務局 (中山補佐)</p>	<p>それでは引き続き進めさせていただきます。</p> <p>富津市在宅医療・介護連携推進会議設置要綱第6条に「会長が議長となる」と規定されていますので、三枝会長に議事進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
<p>三枝会長</p>	<p>それでは議長を務めさせていただきます。</p> <p>まず、私から、本日の会議の議事録署名委員の指名をさせていただきます。秋川委員、よろしくお願いいたします。</p>
<p>秋川委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>三枝会長</p>	<p>それでは、会議次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>議題第1号「令和元年度の認知症施策の地域住民への周知について(報告)」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
<p>事務局 (西野社会)</p>	<p>議題第1号「令和元年度の認知症施策の地域住民への周知について」、報告させていただきます。</p>

福祉主事)	<p>お手元の資料、「認知症施策部門ワーキンググループ 前回意見及び市の施策について」をご覧ください。</p> <p>平成30年度の富津市在宅医療・介護連携推進会議のワーキンググループの中で、認知症施策を市としてどのように周知活動していくかというところで、委員の皆様には様々なご意見をいただいたところでした。そして、今年度第1回のワーキンググループの中で、市としてどのようにこの周知を施策として実行していくのかというところについて話し合い、検討しましたのでそのことについてご報告をさせていただきます。</p> <p>まず一つ目、認知症ケアパスについてなんですけれども、皆様のお手元にお配りした「あったかふつつ認知症サポートガイド」が現行の認知症ケアパスになるんですけれども、こちらのレイアウトについて改善の余地があるのではないかというご意見をいただきました。こちらの内容について検討した結果、ケアパスは各市数年毎にマイナーチェンジを加えているため、レイアウトについては富津市版の更新を行う時に見直していく、つまり、この在宅医療・介護連携推進会議の中で変えていくということではなくて、富津市版を更新する時に改めて検討することになりました。内容としては医療・福祉関係者等の専門職や民生委員が活用できるものといえます。</p> <p>続きまして、ささえあいシールについて説明いたします。お手元の「富津市認知症高齢者等ささえあいシール支給事業」をご覧ください。こちらは事業としては開始しているんですけれども、なかなか実績が上がらず周知も進んでいないという状況の中で、認知症の人だけに配るのではなくて、ある一定の年齢以上の全員に配るようにすればよいのではというご意見をいただきました。市として検討した結果、こちらを全員に配るとかなりのコストがかかるため、費用対効果の問題があることから、抵抗なくつけてもらう街づくりを目指すということで、全員に配ることについては難しいのかなというかたちに</p>
-------	--

なりました。

続きまして認知症カフェについても、「富津市オレンジカフェ」と記載されている資料をご覧ください。

認知症カフェについては、現時点で6ヶ所市内に開設されております。きんこくカフェ、石窯カフェオアシス、わたしたちのカフェ、門カフェ、わくわく、ジジババカフェゲンキゲンキとあるんですけれども、富津市としましては、小学校区毎に認知症カフェを設置していくことを目指してまいります。認知症カフェにいらしていただきたい対象の高齢者の方はたくさんいらっしゃるんですけれども、どうしても足（交通手段）の問題があって、「車がないと行けない」ですとか「遠くて行けない」とおっしゃる方が多いので、小学校区毎に設置して歩いて来れる場所に認知症カフェがあるという状況を進めてまいりたいと思っております。きんこくカフェというのが湊小学校区、石窯カフェオアシスが環小学校区、わたしたちのカフェが天神山小学校区、門カフェが富津小学校区、わくわくが青堀小学校区、ジジババカフェゲンキゲンキが大貫小学校区となっております。現時点で6ヶ所開いているんですけれども、さらに2ヶ所の開設について今話が進んでいます。飯野小学校区と佐貫小学校区の施設の方にお話をしているところですので、6ヶ所プラス2というところで今8ヶ所話が進んでいます。

子どもとの交流については、現時点で実施方法を検討中なんですけど、案としましては、学童保育に通っているお子さんたちと認知症カフェの高齢者の方が交流会のようなものを企画できればよいのではないかというふうに考えております。どうしても小中学校は年間のカリキュラムに制約が出てきてしまいますので、学校の時間ではなく学童保育のお子さんとは交流することができればと考えております。

続きまして、認知症サポーター養成講座について説明させていただきます。こちらについては、富津市としては小中学生を

中心にお子さんのサポーターを養成していきたいと考えております。そして学校での開催を強化していきたいということで教育センターと調整して、今年度以降市内の全中学校で開催をしていただくように今お願いをしております。毎年必ず一定の学年に受講していただいて、数年後には市内の生徒すべてが認知症サポーターであるような状況を作っていきたいと考えております。また、認知症サポーターフォローアップ講座、これはサポーター養成講座を受講した方を対象にするフォローアップ講座なんですけれども、8月20日に小中学生向けの認知症サポーターフォローアップ講座というものを開催する準備をしております、小中学生に実際に認知症の方と触れあっていただく機会を設けようと考えております。

続きまして認知症初期集中支援チームについてご説明をさせていただきます。広報やホームページ等で周知をしているんですけれども、なかなか市民の皆様への周知が進んでいないというところで、市民が身近に感じられるようチーム員のメンバーのリストを掲載することを検討しております。ただ、こちらはまだ決定はしておりませんので、今後委員の方、チーム員の方と相談しながら進めてまいりたいと考えております。

最後に、その他認知症施策について説明いたします。

認知症に対する市民の方のイメージをどのように変えていくかというところをワーキンググループで話し合った結果、認知症メモリーウォークを来年度に実施することを計画しております。平成30年度に木更津市で開催された「認知症メモリーウォーク・千葉 in 木更津」という資料をご覧ください。メモリーウォークとは、認知症への理解と社会への啓発活動などを目的に、市の中心部を、横断幕を持ったり風船を持ったりとか目立つものを持ちながら行進をするというイベントでございます。木更津市の場合は、医療・介護・行政関係者やその他一般関係者を含めておよそ100名程度の参加があったと伺って

<p>三枝会長</p>	<p>おります。富津市でも令和2年度にこれを実現するために、今年度ワーキンググループの中で実行委員会を立ち上げて実施に向けて話を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>ただいまの説明につきまして何かご質問とかご意見とかございますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>三枝会長</p>	<p>よろしいでしょうか。確認なんですけど、認知症カフェを小学校区で設置と言いましても、小学校はだんだん統廃合されて少なくなっていくんですけど、そういう場合にはどうされますか。</p>
<p>事務局 (西野社会 福祉主事)</p>	<p>天神山小、竹岡小、金谷小については来年度になるともうなくなってしまうので、あと吉野小学校区にできれば達成することにはなりますけど、竹岡・金谷地区をどのようにフォローしていくかというところは話が詰められていないので、旧小学校区での開設で進めてまいりたいと考えております。</p>
<p>三枝会長</p>	<p>もしそれで達成できた場合に、また新たに手挙げがあった場合にはどうしますか。</p>
<p>事務局 (西野社会 福祉主事)</p>	<p>そういった場合は、一小学校区に二つあっても構わないと考えています。</p>
<p>三枝会長</p>	<p>わかりました。他に何かございますか。</p>

	<p>(意見なし)</p>
<p>三枝会長</p>	<p>それでは議題第1号を終了いたします。</p> <p>続いて議題第2号「在宅医療・介護連携のための現状把握について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
<p>事務局 (磯貝副主 査)</p>	<p>議題第2号「在宅医療・介護連携のための現状把握について」説明させていただきます。</p> <p>資料の3ページをご覧ください。昨年度の第1回目の会議にも資料として本市の介護保険事業の状況について掲載しましたが、平成30年度末時点のものができあがりしました。3ページのグラフは、65歳以上の第1号被保険者数です。平成30年度は16,925人で、年々増加しております。</p> <p>続きまして資料4ページのグラフは、要介護・要支援の認定者数です。平成30年度は2,935人、こちらも右肩上がりとなっております。内訳を見ますと、第1号被保険者数は毎年上昇している一方、第2号被保険者の認定は年によって増減があり、近年は60人前後で推移しています。</p> <p>資料5ページのグラフは、第1号被保険者数に占める要介護・要支援認定者の割合を示しています。平成30年度は17.66%でした。</p> <p>資料6ページのグラフは、各サービスの受給者の割合を示しております。平成30年度の全体の受給者数は2,415人で、内訳を見ますと、居宅サービスは平成28年をピークにわずかに減少傾向、地域密着型サービスは増加傾向、施設サービスは概ね横ばいで推移しております。</p> <p>資料7ページのグラフは、給付費の割合です。平成30年度は44億5,474万4千円です。給付費の割合を見ますと、平成28年度から居宅サービスと施設サービスの割合が減少傾向、地域密着型サービスが増加傾向となっております。</p>

資料 8 ページのグラフは、第 1 号被保険者 1 人当たりの給付費です。平成 30 年度は 27 万 3,189 円でした。平成 30 年度においては、受給者数は減少していますが、1 人当たりの給付費の額は増加しております。

続きまして、資料 9 ページの「国保データベースによる在宅医療サービス提供状況」をご覧ください。

こちらは、国保データベース（K D B データ）による在宅医療サービス提供状況です。千葉県が医療法第 30 条の 5 の規定に基づき、千葉県国民健康保険団体連合会から K D B データの提供を受けまして、分析事業実施要領に基づき分析されたデータです。千葉県保健医療計画に基づく在宅医療推進施策の進捗状況の把握及び計画見直しの基礎資料等とすることを目的としております。この表の中では千葉県全体と君津圏域、当市の比較ができるようになっております。左側が平成 29 年 10 月の 1 ヶ月間の在宅医療サービス提供状況です。右側が医療機関ベースで平成 28 年と平成 29 年の 10 月を比較したものです。参考にご覧いただきたいと思っております。以上です。

三枝会長

それではこの件に関しまして何か質問はございますか。

(意見なし)

三枝会長

6 ページの受給者数が、居宅サービスで減ってきていますが、これは何か原因があるのでしょうか。できるだけ居宅サービスを増やして、できるだけ施設等を減らして市の負担を軽くするというのが本来のものだと思うんですけど、受給者がどんどん減ってきているというのは何か原因があるかどうか分析されていますでしょうか。

事務局

今まで介護予防で支給されていた訪問サービスや通所サー

<p>(篠田係長)</p>	<p>ビスが、それだけのサービスを使っている方については平成 29 年度に地域支援事業に移行していますので、その部分が減っています。</p>
<p>三枝会長</p>	<p>わかりました。あと 9 ページの K D B データを見ますと、結局千葉県でどのくらいのものがあるって 4 市でそれが何パーセントを占めていて、富津市で何パーセントを占めているというそれだけのデータですよ。これだけだと富津市が他の市町村に比べて多いのか少ないのかが全然わからないので、このデータを見せられてもあんまり意味がないと思うんですよ。4 市の中の他の市とかとの比較はできるんですか。これはもうこういうデータしか下りてこないんですか。</p>
<p>事務局 (篠田係長)</p>	<p>今の段階では県の方から来ているのがこのデータのみなので、県の方では各市のデータを持っていると思うんですけれども、各市にそれぞれのデータは来ていません。</p>
<p>三枝会長</p>	<p>県が持っているのであればそれを取り寄せてもらって、例えば君津市・木更津市・袖ヶ浦市と比較してどうだとか、あるいは富津と同じような規模・人口構成の市と比べてどうかとか、そういったものを出していただいた方が色々なことの参考になるのではないかと思います。来年以降そういったものも考慮していただけるとありがたいと思います。</p> <p>他によろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>三枝会長</p>	<p>続きまして、各委員がそれぞれの所属団体で現在取り組んでいる事項の情報交換を始めたいと思います。お手元の「委員所属団体等での取組み一覧」をご覧ください。11 ページになりま</p>

す。

まず医師会から始めたいと思います。

医師会につきましては、「富津市における医療と介護の連携の会」というものを毎年やっています。医師会第四部会と富津市介護支援連絡協議会の共催で、昨年度は3月8日に開催いたしました。毎年会場を静養園でやらせてもらってきたんですけども、閉まってしまったので、今回東京湾観音の観音会館でやらせてもらいました。内容は在宅死について私がお話しさせていただいて、そのあと懇親会をさせてもらっています。次に君津医療圏域四市地域包括支援センター連絡協議会というものが昨年10月31日にシンポジウム形式で行われました。君津木更津地区4市ケアマネジャー連絡協議会という情報交換会が1月31日に開催させてもらいました。主に看護と介護ということについて意見交換を行いました。それから在宅医療推進事業研究会ということで去年の12月5日に開催させていただきました。松戸市の活動に関して色々教えていただきました。これらの会については今後とも継続して開催予定としております。

これ以外に、昨年度から在宅困難事例の検討会というものを医師会で月に1回行っています。これは各包括支援センターからあがってきたものをまとめて、在宅にいるのがかなり困難な症例について特に医療面から関わるできないかということを検討させていただいております。それ以外に4市の医師会の方で認知症サポート医連携の会、市民対象の講演会、4市の介護認定審査会の全体会議といったものが開かれております。今年も続けていく予定でございます。医師会からは以上です。

続きまして、認知症疾患医療センターの細井医院お願いします。

細井委員	<p>認知症疾患医療センターは、もともと4市を対象に事例を通して多職種症例勉強会というのをやらせていただいております。平成23年からやっています。もともと富津市は君津市と一緒に君津市を会場にやらせていただいたんですが、昨年度から会場を4市それぞれでやらせていただいて、今年度に関しては富津市は来年の2月14日に皆さん多職種でディスカッションしようということであります。今年度は地域包括の方から事例を各種挙げていただいて、それをこちらで検討させていただいてということで作る予定であります。多数の参加をお待ちしております。よろしく願いいたします。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございました。それでは歯科医師会お願いします。</p>
水町委員	<p>歯科医師会としては、昨年度、在宅口腔ケアスキルアップ地区研修会を行っていました。これは千葉県から千葉県歯科医師会への委託事業で、市原の急病センターで31年2月21日に行ってまいりました。今年度は、県歯科医師会の再編が行われるので、どこで開催されるかまだ決まっておりませんが、行う予定です。以上です。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございました。続きまして薬剤師会、大島委員お願いいたします。</p>
大島委員	<p>薬剤師会に関しましては、ケアの事業が基本になるんですけども、介護職員を対象とした医薬品等に関する研修会、これは2年前から始まっていますが、初めの時には地域包括ケアと薬剤師との関わりについてということで在宅と残薬ということの話をさせていただきまして、昨年度は3包括を中心に5回研修会を行いました。高齢者がお薬を服用する際の注意点とい</p>

うことで最近話題になっています「ポリファーマシー（薬剤が多いことにより薬物有害事象につながる状態や飲み間違い、残薬の発生につながる問題のこと）」、薬を多く飲まれる方への注意とか、飲み合わせを中心にして、施設によっては消毒の重要性だとか認知症の方との接し方について、もしくは誤った服用をしてしまった場合の防止する方法などを話をさせていただいています。今年度もこの事業に関しましては少しかたちを変えて10月以降で行っていく予定となっております。

また、昨年1月、2月ぐらいからスタートしているんですけども、在宅訪問薬剤師という仕事をする人間を増やしていこうということで、まず指導薬剤師という指導する立場の薬剤師を作って、その薬剤師を中心に、新しく活躍される薬剤師を育てていこうということで、まず袖ヶ浦と木更津で一人、君津・富津で一人、その方を対象の研修会を始めています。これも10月以降で新たにかたちを変えて在宅訪問薬剤師の研修等を行っていくという格好になっています。

その他、高齢者を対象にしたお薬の勉強会であったり相談会を市役所の特定健診の場所を借りております。これも今年度も継続となります。以上です。

三枝会長

ありがとうございました。続きまして訪問看護の方からお願いしたいと思います。

村田委員

訪問看護は、資料に書いてある君津地域訪問看護つなぐ会が主になっておりまして、こちらに実際に参加させていただいている訪問看護の須藤の方から報告させていただきます。

須藤委員

君津中央病院の会議室を借りまして、3ヶ月に1回開催しております事例紹介などの内容でして、4市の訪問看護ステーションや病院で看護を行っている看護師が一堂に会しまして情

	<p>報交換を行っておりますけれども、その中でステーションや病院の中の対象となる患者さんとか活動をやっているリストを作成して数年に1回は更新して情報を流すことになっております。以上です。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございました。続きましてリハビリ職団体お願いします。</p>
夏目委員	<p>PT・OT・ST連絡協議会としては、君津地域リハビリテーション連絡協議会に昨年度は5月11日と11月19日の2日間で理学療法士1名、作業療法士1名が出席しております。君津圏域公開フォーラムは9月30日に君津中央病院で行われ、楽しく動いて認知症予防、音楽療法、特にDVT（深部静脈血栓症、肺塞栓症の原因）予防の体操であったり誤嚥性肺炎の予防の啓発を行わせていただきました。</p> <p>平成30年6月22日には富津市ケアマネ協議会に参加して、PT・OT・ST連絡協議会の活動の紹介を行わせていただきました。</p> <p>平成31年2月21日には君津圏域4市の老人クラブリーダーを対象として、今の健康を維持するためのリハビリという内容で講義を行いました。</p> <p>その他に木更津市の自主グループに対して、認知症や転倒の予防についての講義をさせていただきました。以上です。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございました。続きまして市の方からお願いします。</p>
牧野委員	<p>市といたしましては、医師会・歯科医師会・薬剤師会の皆さんにお集まりいただきまして、三師会の会議を開催させていただいております。昨年度は、平成31年2月7日に開催したと</p>

三枝会長	<p>ころですが、本年度はまだ具体的な日にちは決定しておりませんが、開催させていただくということで予定しております。</p> <p>続きまして介護支援専門員、ケアマネジャー協議会からお願いします。</p>
有江副会長	<p>団体名称自体が消滅しているんですけども、これどういうことでしょうか。この会議の構成団体に入っているかと思うんですが。</p> <p>先ほどPT・OT・ST連絡協議会からお話がありましたように、当協議会の研修会でリハビリについて講義をしていただきました。</p> <p>あと、薬剤師会さんの方も、県からの薬局ビジョンサポート事業というのを委託を受けて、当協議会と一緒にマッチングをして毎月実施させていただいたと思うんですけどもそこが入っていないような…。</p> <p>あと、君津中央病院の病棟看護師の方との意見交換会を9月と1月の2回開催しております。</p> <p>そこらへんがごっそり抜けていたようだったので、口頭で説明させていただきます。以上です。</p>
三枝会長	<p>そこらへんのところしっかりとしてください。またこれ今日の結果をまとめますよね。そこにはちゃんと載せるようにしてください。</p> <p>続きまして老人保健施設の方からお願いしたいと思いますが。</p>
古堀委員	<p>昨年まで君津安房地区ブロック会というふうに載せさせていただいていたんですけども、最近では認知症の看取りを希望される方が多くなってきていまして、当施設でも認知症の方や</p>

地域の方で、やっぱり在宅では難しいという方をお預かりするのにあたって、認知症の研修会であったり、新生活行為向上リハビリテーション研修会であったり、ケアの質を上げる研修会であったり、リスクマネジメントの研修会というものを全老健や医師会、全国デイケア協会、慢性期医療協会とかリハビリ病院・施設協会、看護協会等の研修会に参加しながら色々な情報を老健の中で交換したいと思っているんですが、富津の中だと当施設ぐらいしか参加しているところが多かったので、地域の情報としては乏しいんですけども、これからも情報共有をしながら在宅と医療と介護と連携を図りたいと思って取り組んでおります。以上です。

三枝会長

ありがとうございました。続きまして地域包括支援センター、藤野委員をお願いします。

藤野委員

包括支援センターでは、在宅医療相談窓口設置に向けまして、4市医師会で設定していただきました事例検討会で発表して参りました。さらに、先ほど大島委員からありましたが、多職種連携ということで薬剤師会と連携しまして、24時間相談窓口についての周知、介護職員を対象とした医薬品等に関する研修会を行ってまいりました。このことによりまして、地域のケアマネジャーさんたちは「薬局に相談しやすくなった」ということで声が上がっております。それから、研修につきましては、在宅医療相談窓口につきまして、済生会新潟第二病院（平成31年4月から病院名称を「済生会新潟病院」に変更）地域連携福祉センターのケース、それから船橋市在宅医療支援拠点ふなばーとの取組、西東京市のにしのわの取組について、各地域で行われている活動を学んでまいりました。地域の規模等に差はありますが、医療との連携がスムーズに行くように、それから、在宅療養支援窓口からスムーズに包括支援センター等に連携

<p>三枝会長</p>	<p>が取れるようにといった取組がなされているというのを学んでまいりましたので、我々におきましても、同様に医療と福祉が円滑に活動できるように対応していただくことで3包括が認識をしたところであります。以上です。</p> <p>ありがとうございました。他にございませんでしょうか。</p> <p>それでは、ただいま発表のあったことについて何かご意見・ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>三枝会長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、事務局としてもう1回きちんとそれぞれの団体にアンケートをとってちゃんとしたものをまとめるようにしてください。</p> <p>それでは、続きまして議題第3号「令和元年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
<p>事務局 (磯貝副主査)</p>	<p>議題第3号「令和元年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について」ご説明させていただきます。</p> <p>資料の13ページをご覧ください。1の会議の目的としては、(1)住み慣れた地域で安心して医療と介護を受けることができるよう、医療・介護関係者等の連携を深める。(2)在宅医療・介護連携における課題解決のための対応を検討する、という2つです。</p> <p>続きまして、2の目標をご覧ください。本会議が平成29年度に設置され、「住み慣れた地域で安心して人生の最期まで暮らせるまち」を理想像に、在宅医療・介護連携の課題についてご検討いただいております。平成30年度では、在宅医療・介</p>

護連携ワーキンググループと認知症施策部門ワーキンググループを設置しました。そして平成 31 年 3 月に「富津市在宅療養と在宅看取りのガイドブック」を作成し、ホームページにて公開しました。

令和元年度においては、認知症施策部門ワーキンググループにて、認知症メモリーウォークを来年度に開催することを目標に、委員の皆様と協議をしております。

また、平成 30 年度に実施できなかった「在宅医療・介護関係者資源リスト」の更新について、君津 4 市で協議をしながら更新したいと考えております。

その他、委員及び所属団体において連携推進会議にて議題として検討する課題について、挙げていただきたいと考えております。

続きまして 14 ページの 3 の会議の運営方法については、記載のとおりです。以上で説明を終わります。

三枝会長

ありがとうございました。ただいまの発表に関しまして何かご意見やご質問、あるいは今年度の会議の方針についてご意見ございましたらお願いしたいと思います。

特に問題になっている点とかはございませんか。

(意見なし)

三枝会長

それでは、資源リストの更新をしっかりとお願いしたいと思います。あと、認知症メモリーウォークは、木更津なら繁華街というか人の大勢いるところがあるんですけど富津市でどこでやるのかというのも問題で、市役所の前の通りを通っても誰もいないんじゃないかと思うんで、そういったことも含めてどの程度の意味があるのか、そういったことをしっかりと議論していただいで進めていただければと思います。

三枝会長	他にございませんか。
夏目委員	<p>この会議自体医療と介護の連携をしていくということで、13ページの1の目的にも書いてあるんですけども、関係者等の連携を深めるということで、看取りのガイドブックの方には管理栄養士さんだとかホームヘルパーさんの説明も書かれているんですが、こちらの会議には出席させていただいていないというところで、ご本人様やホームヘルパーさんじゃないと色々な情報を持っていただいているのかなと思うので、もし参加いただけるのであれば、この会議の中に入れていただいてもいいのではないかなと考えております。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございました。ただいまの夏目委員の意見につきましていかがでしょうか。</p> <p>確かに色々な視点から見るというのは大事だと思いますので、特にご異議なければ事務局の方で検討してもらって依頼をしていただいたりしていただければと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
三枝会長	<p>じゃあそのようにお願いします。</p> <p>他にございませんか。</p>
藤寄委員	<p>認知症の方のワーキンググループ会議では、メモリーウォークの来年度の開催を目指して今年度取り組んでいくというところですけども、例えば、提案として市民向けの講演というのはいかがでしょうか。</p>

三枝会長	<p>いかがでしょうか。市民に対する普及啓発という非常に大事なものですので、在宅医療になるのか認知症になるのか色々な考え方あると思いますけど、それは是非積極的に進めていただければと思いますけど、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
三枝会長	<p>はい、ありがとうございます。それではよろしくお願ひします。</p> <p>他にございますでしょうか。</p>
有江副会長	<p>市の方で、昨年度社会福祉法人が実施した「ケアニン」という在宅医療・介護、それから認知症にも関わるような映画の上映会を後援していただいたと思うんですが、そちらの報告もしていただけると。</p>
事務局 (磯貝副主査)	<p>富津市におきましては、3月24日に、認知症及び認知症の介護への理解を深めることを目的とした市民啓発の見地から、今お話のありました映画「ケアニン」の上映会を、市が後援というかたちで、富津公民館で開催いたしました。午前と午後に1回ずつ上映をいたしまして、たくさんの方に会場に来ていただきました。以上です。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございました。私はそれにちょっと都合で観られなかったんですけど、やはり若い人たちを介護の世界へという意味で非常に意味のあるものだと思いますので、これはどこかから借りてきたものですか。</p>
有江副会長	<p>はい、この映画の製作委員会の方から有料で借りてきました。</p>

<p>三枝会長</p>	<p>そういったものを今後市の方で借りていただいて、学校で上映するという事も検討していただけるとありがたいと思いますので是非よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>その他に何かございますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>三枝会長</p>	<p>よろしいでしょうか。それでは事務局の方からその他で何かありますでしょうか。</p>
<p>事務局 (飛澤社会福祉主事)</p>	<p>本日ご多忙の中、委員の皆様から貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございます。所属団体等での取組み一覧に不備がありまして申し訳ありませんでした。こちらは修正してご案内したいと思ひます。今後のワーキンググループ等会議の開催につきましては、協議の上改めてご案内させていただきたいと思ひます。</p> <p>続きまして2点ご連絡いたします。まずお手元の令和元年度のエンディングノートをお配りしましたのでご覧いただければと思ひます。市民の皆様に対しましては、各ケアマネジャーさんや公民館等の窓口を通じて、希望者へ配付いたします。令和3年度までの複数年の協定を結んでおりまして、毎年2,000部ずつ作成予定です。もし皆様の団体等でも配布にご協力いただけるようでしたら、会議室後方に在庫を用意しましたので、お持ちいただければと思ひます。</p> <p>2点目です。お手元の「袖ヶ浦市 医療・介護多職種連携エチケット集」をご覧ください。こちらは、袖ヶ浦市にて切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築を目指して、医療・介護の関係者がスムーズに連携することを目的に作成したものです。ただ、実際にエチケット集を利用している機関が少</p>

なく、職種により認知度も低いといった状況があります。また、袖ヶ浦市の在宅医療・介護連携推進会議におきまして、4市共通のエチケット集が必要ではないかという意見がありました。また、先日4市介護保険担当課会議がありまして、その中でも共通化していきたいという議題がありましたので、皆様にも周知させていただきます。このエチケット集の共通化に関するご意見等がございましたら、事務局までお寄せいただければと思います。

続きましてお手元の「千葉県地域生活連携シート」をご覧ください。先ほどの袖ヶ浦市のエチケット集と同様の目的で、県において医療と介護サービスをスムーズに提供することを目的に、ケアマネジャーさんと病院等が利用者の情報を共有するための様式となっております。改めてアナウンスさせていただきます。事務局からは以上です。

三枝会長

ありがとうございました。このエチケット集に関しては4市で議論するという事なんですけれども、それは行政の側でやるということでしょうか。

事務局
(飛澤社会
福祉主事)

4市の行政の会議の方で議論していきたいと思います。ただ、この会議の中でもこうした方がよいというご意見があればお寄せいただけたらと思います。

三枝会長

わかりました。それでは持って帰ってよく読んでいただいて、何かこうした方がいいという点がありましたら事務局に連絡して意見として取り入れていただければと思います。

他に何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして令和元年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議を終了いたします。お疲れ様でした。